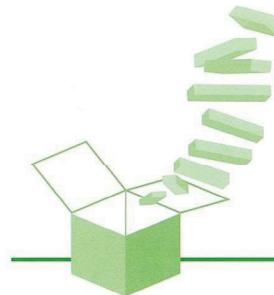
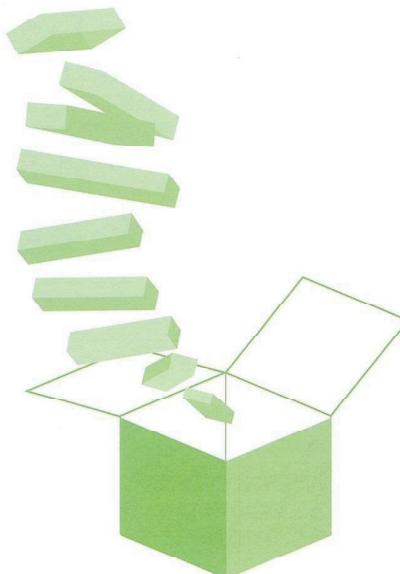


建築技術認証・証明事業

新しく開発された建築技術の性能を証明します。



■ 建築技術認証・証明事業については、
建築確認評定センター 性能評定課
までお問い合わせください。



性能評定課

〒540-0026
大阪市中央区内本町2-4-7 大阪U2ビル5F
TEL : 06-6966-7600 FAX : 06-6966-7680

本部（試験事業部門等）

〒565-0873
大阪府吹田市藤白台5-8-1
TEL : 06-6872-0391 FAX : 06-6872-0784



<http://www.gbrc.or.jp>



一般財団法人
日本建築総合試験所
建築確認評定センター

本事業の概要

新しい技術が、要求されている性能を満たしているか否かの判断は容易ではありません。その判断を支援するために、当法人が独自の事業として開始したのが「建築技術認証・証明事業」です。新しい技術が達成している性能を具体的に証明し、新しい技術の開発・普及や確認申請において建築主事等が行う判断の技術的根拠^{*}となることを本事業の目的としています。

*同様の位置付のものとして、他機関が実施している建設技術審査証明や任意評定があります。

性能認証と性能証明について

「建築技術認証・証明事業」では性能証明と性能認証を行っています。

「性能認証」は、特定の建築技術の性能を第三者の立場から審査し、その性能が認証基準に適合していることについて「性能認証書」を発行するものです。一般化された建築技術を対象としています。

「性能証明」は、新しく開発された建築技術の性能を第三者の立場から審査し、その技術が保有する性能について、「性能証明書」を発行するものです。新規性・独自性のある建築技術を対象としています。

組織と運営

「建築技術性能認証委員会」では、学識経験者を委員に委嘱し、第三者として性能認証または性能証明するための総括的審議を適正・公平に行います。また、「建築技術性能認証委員会」の下には、評価専門委員会を設けます。評価専門委員会は、申込案件ごとに設置し、その技術の含まれる領域を特に専門とする学識経験者を構成員として、申込案件技術の具体的な審議を行います。

*性能証明は甲込技術により受付を毎月に調整しています（毎月：RC系、S系、その他、偶数月：基礎系）。
性能認証は随時受付を行っています。

性能認証の対象技術

建築技術性能認証委員会で認証基準を定めた技術が対象となります。

◇対象技術

・せん断補強筋の溶接継手性能（A級継手）

※その他の技術についても、必要に応じて順次追加していきます。

性能認証は、評価専門委員会での審査の他に、技術に応じて書類審査や工場審査を行うなど、対象技術ごとに審査方法を定めています。その他にも、手数料など性能証明の取り扱いと異なるところがありますので、詳細はホームページをご覧ください。

GBRCだからできること

親切：案件毎に法人の技術担当がつき、50年を超える試験研究事業の経験を活かし、事前相談から証明書の発行まで、一貫して申込者のサポートを行います。

正確：多種多様な技術に対応できる委員構成により、その技術に適正な審査を行います。

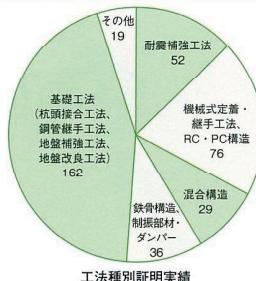
迅速：早期に証明書を発行できるよう対応します（審査開始後、証明書発行までは、平均3～4ヶ月程度です）。

性能証明の対象技術

新築工事に用いる各種工法や基礎工法、既存建築物の耐震補強工法等、多岐にわたります。

証明実績は、基礎工法の162件、耐震補強工法の52件をはじめ、総計で370件を超えます。

(H27.9.30現在)



主な工法における性能証明事例

耐震補強工法

枠付き鉄骨フレーム耐震補強工法
外付けRCフレーム耐震補強工法
鉄筋コンクリート増設壁耐震補強工法 など

機械式定着工法

定着板を圧接した異形鉄筋の機械式定着工法
など

RC構造

溶接閉鎖型高強度せん断補強筋
梁貫通孔補強工法 など

混合構造

柱RC梁S接合工法
梁端部RC造・中央S造の複合構造梁工法 など

基礎杭

杭の引抜き支持力の評価 など

地盤改良工法

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法
格子状浅層地盤改良工法 など

地盤補強工法

回転貫入鋼管杭工法、圧入鋼管杭工法
柱状碎石補強体を用いた地盤補強工法 など

性能証明フロー図

①事前相談・事務局との協議



②申込書・申込特記事項の提出



③性能認証委員会による案件受付



④評価専門委員会による技術的評価



⑤性能認証委員会による審査(報告)



⑥性能証明書の発行



⑦証明の公表